

第4学年体育科学学習指導案

令和4年6月15日(水) 5校時

児童数 36人

指導者

1 単元名 「 跳び箱運動 」

2 運動の特性

(1) 一般的な特性

基本的な繰り返し系や回転系の技に取り組み、それぞれについて自己の能力に適した技ができるようになることが楽しい運動である。

(2) 児童から見た特性

跳び箱運動の学習アンケートでは、児童の約8割は、跳び箱運動が「とても好き」「まあまあ好き」と答えている。「跳べたらうれしいから」「いろいろな技があるから」「手の力やジャンプ力が鍛えられるから」といった理由があり、跳び箱運動の楽しさや跳べる心地よさを感じている児童が多い。しかし、「あまり好きではない」「好きではない」と答えた児童の中には、「あまり跳べない」「跳ぶのが苦手」という理由を記述していた。また、「まあまあ好き」と答えた児童の中にも「時々失敗して嫌な気持ちになる」や「高い段だと失敗する」「けがをするかもしれない」という理由を記述していたことから、うまく跳べないという苦手意識や、これまでに痛い思いをしたことからの経験から恐怖心をもっているように考えられる。

跳び箱運動が好きではあるものの得意ではないと感じている児童がいたことから、「できた」の基準を明確にして成功体験を増やし、自信をつけることで、より楽しんで跳び箱運動ができると考えられる。

3 運動の学び方

児童は、3年時での跳び箱運動の学習では、開脚跳びや台上前転といった基本的な繰り返し系や回転系の技の他に、低学年で行った踏み越し跳びやまたぎ乗り・下りなどの簡単な跳び方を行っている。その中で、基本的な動きを身につけたり、楽しさを経験したりしている。

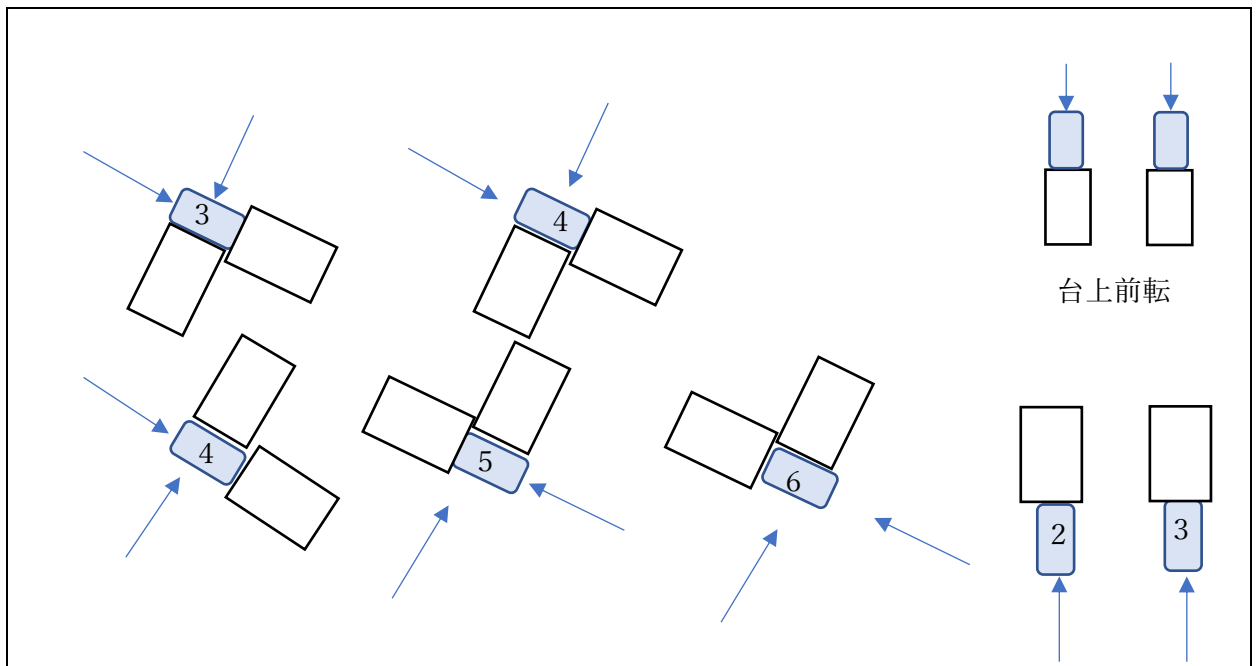
また、前単元では、器械運動「鉄棒運動」を行った。その中でめあて→活動→振り返りの流れを学習しており、学習の流れが定着している。

4 教師の授業への意図

- ・ 毎時間、めあてに対する振り返りを書かせる。振り返りから次時のめあてを設定させることで、課題意識をもっためあてを立てることができるようにする。
めあて①は「できる技をレベルアップして楽しもう」とし、楽しみ方として、安定してできる(5回連続)、踏み切り(踏み切りと跳び箱の距離)、高さ(段)から選ばせ、活動させる。めあて①の活動の中で、他の児童が挑戦する際のヒントとなるよう、形態図に児童が考えた技のこつを書き入れるように促す。
めあて②で、「できそうな技に挑戦して楽しもう」とし、学び方として、タブレットやスクリーンで自分の動きやお手本動画を見ること、形態図で技のこつを見ること、場の工夫をすることを示した上で、新しい技に挑戦させたい。また、タブレット端末を使って自分の動きやお手本の動きを確認したり、形態図に技のこつを書き込んで他の児童の参考にさせたりすることで、自身の課題を発見し、それぞれの技のこつを意識しながら活動する中で、「できた」を増やせるようにしたい。
- ・ 学習カードは、①めあて②振り返り③自己評価の3つの視点から書かせる。③の自己評価では、チャートを使い、楽しんで活動することができたか、めあてを達成することができたか、めあてに対する学び方ができたかという観点から評価させ、毎時間の学びを視覚化して示したい。単元終末には、学習カードと系統表を見返すことで、単元を通じた自己の学び方や成長を自覚させたい。
- ・ いろいろな段で、縦横どちら向きに置いても跳べるという跳び箱の特性を活かし、児童が複数の段、どちらの方向からでも挑戦できるような場を設定し、待っている間に友だちの跳ぶ姿

が見られるようにする。そうすることで、友だちの良いところを見つけて自分に取り入れたり、アドバイスをしたりと友だちと技を高め合えるようにする。

個々のめあてに応じた活動ができるよう、段階的に取り組めるような場を提示し、苦手意識や恐怖心を減らすことで学習意欲を高められるようにしたい。



5 単元の目標

(1) 知識及び技能

○繰り返し系や回転系の基本的な技に取り組み、自分の課題に合った技ができる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

○自分の能力に合った課題をもち、技ができるようにするための練習方法や場を選んだり、友だちに助言したりすることができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

○運動に進んで取り組み、きまりを守って運動したり、場や教具の安全に気をつけたりすることができる。

6 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元に盛り込む 評価規準	基本的な繰り返し系、回転系の技に取り組み、それぞれについて自己の能力に適した技ができる。	基本的な技の動き方や技のポイントを知り、自分の力に合った課題を選んでいる。 基本的な技に十分取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んでいる。	運動に進んで取り組もうとしたり、きまりを守り仲よく運動をしようとしたり、場や用具の安全に気を付けていたりしている。

学習活動に即した 評価規準	①自分に合った切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。	①技のポイントを知り、技ができるようにするための運動の仕方を工夫している。 ②自分の能力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の仕方を工夫している。 ③友だちの課題に気づき、技ができるように助言している。	①技ができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り、友だちと励まし合って運動しようとしている。 ③協力して準備や片付けをしようしたり、場や教具の安全を確かめたりしている。
------------------	----------------------------------	--	--

7 学習の道筋と評価計画（全6時間）

時間	1	2	3	4	5	6
過程	つかむ	挑戦する				
学習活動	<p>学習の仕方を知り、今できる技を確かめよう。</p> <p>○オリエンテーション</p> <p>1. 学習の目標</p> <p>2. 学習の進め方</p> <p>3. 準備運動の仕方や場の設定の仕方</p>	<p>単元を通した目標 「できた」を増やして楽しもう。</p> <p>1. 場の準備・準備運動</p> <p>2. めあての確認</p> <p>3. チャレンジタイム①</p> <p>めあて① できる技をレベルアップして楽しもう。</p> <p>【楽しみ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定してできる（連続5回） 踏み切りを離す 段数をあげる <p>4. チャレンジタイム②</p> <p>めあて② できそうな技に挑戦して楽しもう。</p> <p>【学び方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の動きやお手本動画を見る 形態図で技のこつを見る 場の工夫をする <p>5. 片付け</p> <p>6. 学習の振り返り</p>				
	<p>準備運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アザラシ歩き ・脚を開いたうさぎ跳び ・脚を閉じたうさぎ跳び ・カエルの足うち <p>4. 今できる技の確かめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・またぎ乗り・下り ・跳び乗り・下り ・踏み越し跳び ・開脚跳び 等 <p>5. 片付け</p> <p>6. 学習の振り返り</p>	<p>「できた」の基準 ふわっとジャンプ！ピタッと着地！</p> <p>【指導について】</p> <p>技のこつを形態図の中に書き入れるよう声かけをする。 「できた」の基準である、ふわっとジャンプ！ピタッと着地！を意識するよう声かけをする。</p> <p>【指導について】</p> <p>活動が停滞している児童に対し、易しい場での活動を促したり技のこつを確認したり個別の指導を行う。 基本的な技のお手本を動画で見たり、技のこつが書き込んである形態図を見たりすることにより、児童が技のイメージをもちやすくする。</p>				
評価項目	知	①	①	①		
	思		①	②	②	②
	主	①③	①		②	

8 本時について (5 / 6)

(1) 目標

自分の能力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の仕方を工夫することができる。
【思考・判断・表現】

(2) 展開

過程	学習活動	指導○ 評価◇
はじめ	<p>1 場の準備を行い、準備運動をする。</p> <p>2 めあてと本時で挑戦する技を確認する。</p>	<p>○準備運動が済んだ人から再度安全な場となっているかを確認させる。</p> <p>○前時の振り返りをもとに決めた本時のめあてを確認する。</p>
なか	<p style="text-align: center;">めあて① できる技をレベルアップさせて楽しもう。</p> <p>3 めあて1の活動 「チャレンジタイム①」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【楽しみ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定してできる (連続5回) ・踏み切りを離す ・段数をあげる </div>	<p>○できる技については、他の児童が挑戦する際のヒントとなるよう、形態図に児童が考えた技のこつを書き入れるように促す。</p> <p>○「できた」の基準である、ふわっとジャンプ！ピタッと着地！を意識するよう声かけをする。</p>
	<p style="text-align: center;">めあて② できそうな技に挑戦して楽しもう。</p> <p>4 めあて2の活動 「チャレンジタイム②」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【学び方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の動きやお手本動画を見る ・形態図で技のこつを見る ・場の工夫をする </div>	<p>○お手本動画や形態図も参考にして、気をつける技のこつを決めて取り組むよう指導する。</p> <p>○活動が停滞している児童には、易しい場での活動を促したり技のこつを一緒に確認したりと個別に指導を行う。</p> <p>○「なぜできたか」や「気をつけたこと」などできたときの技のこつを考えたり意識したりできるよう声かけをする。</p>
おわり	<p>5 学習を振り返る。</p>	<p>○自己評価の観点から振り返りを書かせる。</p> <p>○友だちのアドバイスや、自分でつかんだ技のこつなどのふり返りを紹介し、他の児童の参考にさせる。</p>
<p>◇自分の能力に合った課題をもち、技ができるようにするための運動の仕方を工夫している。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>		